

井波彫刻の伝統と技に思いを込めて彫り上げる

い なみちょうこく × やまね きよし やまね まゆみ なんと
井波彫刻 × 山根 清・山根 真由美 [富山県南砺市]hokuriku
dentou
kougei

2018年に日本文化遺産に登録され、木彫刻の町として知られる富山県南砺市井波(旧井波町)。その歴史の中心には、焼失と再建を繰り返してきた真宗大谷派井波別院瑞泉寺の存在があります。井波彫刻は、江戸時代中期の瑞泉寺再建に際して京都東本願寺から派遣された御用彫刻師から、地元の宮大工が彫刻の技法を習ったことが始まりとされています。花鳥風月や龍、獅子などを題材に、立体的で躍動感あふれる精緻な彫りが特徴の井波彫刻。その技と魅力に惹かれ、県外から職人の世界に飛び込んだ山根清さんと真由美さんは、修業ののちに独立。現在は2人で工房を構えています。伝統的な井波彫刻のほか、近年はひな人形や五月人形、天神像などの作品づくりにも力を入れ、贈り手の思いを形にしています。



ひな人形や五月人形、天神像は、贈る人の思いをくみ取りながら一体一体オーダーメイドで作っている。ひな飾りのオーダーでは、毎年少しずつ人形や道具を増やしている方もおられるそうだ。



●欄間な箸置き
欄間の技法と材料を使って作った箸置き。小さいながらも井波彫刻の技術が詰まっている。



●(手前)なんとなごぼこ、(奥)my獅子
「南砺ブランド商品開発事業」の一環として作られた小物入れ。

【山根彫刻】

富山県南砺市井波2488-7
TEL:0763-82-6585
<https://yamane-kibori.com/>



●甕
木目を生かして作られており、年を経るごとに木材の味わいが増す。



●桐の鞆
桐材を使用した木製のかばん。軽量かつ丈夫な作りで、普段使いできる。

山根 清 (井波彫刻伝統工芸士/一級井波木彫刻士)

1958年、福井県生まれ。1978年から井波彫刻伝統工芸士の吉田信久氏に師事し、1987年に独立。井波彫刻協同組合理事(2008~2018年)、井波木彫刻工芸高等職業訓練校講師(2011~2018年)を務める。

山根 真由美

1963年、岐阜県生まれ。1981年から井波彫刻伝統工芸士の柳沢英一氏に師事し、1986年には年季修業を終了し独立。2015年からは、いなみ木彫りの里創遊館「くりえ〜と工房」にて体験教室講師を務める。

紹介動画は
こちらから